

放送大学 北海道同窓会会報

第 12 号

発行 放送大学北海道同窓会

編集 広報担当

発行日 2009 年 2 月 22 日(日)

会員数 145 名(2009 年 2 月 8 日現在)

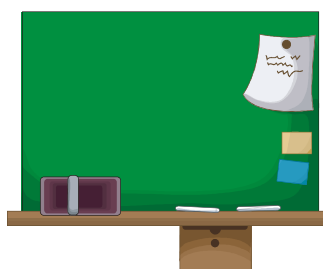
「七十の手習い」

北海道同窓会会長 伊 東 仁

「サラリーマン生活が終わったら、『幕末・明治維新以降の国際交流』について勉強したい」との長年の夢を漸く実現する事が出来た。昨年 10 月から、北大文学部史学科の聴講生として「明治憲法」の勉強を始めたのである。



当初予定より 6 年遅れた。遅れた原因は、スリランカの電力業務に 2 年、インドネシアの電力業務に 1 年を割いた海外コンサルタントの仕事であった。インドネシアの仕事をしている時、親戚が放送大学で勉強している事を知り、翌年春入学手続きをした。コンサルタント業務をしながらでも勉強出来ると考えたからである。それまでにも、北大の聴講生になる事を考えた事もあったが、講義と海外出張が重複する事が有り得るので、踏み切る事は出来なかった。放送大学の 4 年間は、主として「近代日本と国際社会」「朝鮮史」「中国史」「東南アジア史」「アメリカ史」「ヨーロッパ史」「近代ヨーロッパ史」など歴史を中心に勉強した。これで、外堀、内堀が埋められた。残るは天守閣の攻撃である。その後、韓国の話がもあったが、赤字になりそうだ・・・との事で流れた。昨年夏スリランカの話が来たが、専門外なので断った。この時家内に「得意分野の仕事でも断るべきです。観光旅行に行くのではなく、仕事に行くのです。現役時代の体力はないから現地で病気になる恐れがある」と引導を渡された。これで定年退職を決意し、迷わずに聴講生の手続きをした。勉強の成果は、周囲の人々と次世代の若者に語り伝えたいと思う。あの愚かな戦争を 2 度と起こさないために！



2008 年 1 学期卒業式・卒業を祝う会報告

<卒業を祝う会の様子>



「祝う会」は富田先生のお話から始まり、各テーブルで卒業までの出来事をお互いに歓談し、その中から今まで支えてくれた家族や友人、周囲の人々への感謝の言葉が溢れ出し、感動的な卒業を祝う会になりました。又、自己紹介で、苦難を周囲の暖かい支えで乗り越えてきたお話など、胸が熱くなり、来賓や準備委員も感涙しながら会が進みました。出席者全員一生の思い出になったと思います。

次回もまた、卒業し出席される方々が、お互いに共感し、苦労話をしていくうちに放送大学の同窓生としての絆が生まれ、大勢の仲間がいることを確認し合い、いい思い出に残るような「卒業を祝う会」にしたいと思っています。

「卒業を祝う会」準備委員会一同

「放送大学に学んで」

村上美知子

昨年卒業できた「生活と福祉専攻」での放送授業での時間が上手く取れずに印刷教材だけに頼っていたことが、単位認定試験の評価Cでの合格が多かったのも、今年度再入学した「発達と教育専攻」は、学ぶことの意識を高く持って学習しようと思って、放送授業を録画したりして、頑張っても9ヶ月が過ぎましたが、やはり放送授業は時間が取れず、仕方なく印刷教材を開いています。

「学び」は好きなので、解らないときは辞書や参考書とにらめっこで気がついたら夜中の1時2時だったという日が何度もあり、そういう自分に、自分で「体をこわすからもう寝なさい！」と、昔、子供達に言っていた言葉を発しています。私にとって、机に向かっている時間が最高に幸せな時間で、いい時間なのです。こういう時間を過ごして納得の合格ランクで単位が取れたときは、満足感でいっぱいの心持に浸る訳です。

ただ、過去に「確立と統計（'01）」「確立・統計の基礎（'05）」は各々、二年がかりでも、単位を取れるように取り組みましたが、全て不合格。数学の弱い私は、マンガ本になっている「確率」のテキストを購入してみたり、知人に「確立解説」の参考書を借りたり、放送授業の講師に通信試験のときに勉強の仕方を問うと「高校の教科書をもう一度やってみて下さい。」との返事をいただき、自分では随分と頑張ってみたのですが、この分野はチンプンカンプン・・・でやはり単位認定試験は失敗。

この不得意な「確立」「統計」はこれから卒業するまでの中で、時間を作って再チャレンジしようと思っています。

ゆっくり、じっくり、中身の濃い学びをしようというのが、再入学の目的でもあるので、出来ることなら卒業研究で単位を取って卒業したいと思っています。

この様に再入学して、ゆっくり学びたいと言っているのも、主人の協力のおかげがあってこそのことなのです。

冬期間の面接授業、単位認定試験の際には、道路状況を考慮して高速バスを利用しているのですが、いつもならまだ寝ている時間に私をバス停まで送ってくれ、帰りは、「今から帰るよ」のTEL。となり街を出たら「只今〇〇で～す。」のメールで迎えの車がバス停で待っていてくれます。

私の放送大学のスケジュールを第一にしてくれている主人に感謝、感謝



「海」は命の故郷・・「北海道の海辺を日本一美しく」をスローガンに活動しています。児童会の子供たち、大学のボランティアサークルの学生たち、それに私の様なおばさんやおじさん。おっと!おじいさんやおばあさんとゼネレーションギャップなど物ともせず、懸命に海辺の掃除をしています。漂流物に皆興味を持ちそこでビーチコーミングが始まります。どこの国の物か?最初はどんな色だったの



だろう。そして、ごみを捨てる人たちの心までたどり着くのです。又、それらの漂流物が生物、特に海鳥にどんな影響を与えているか。自然界への影響など一人ひとりが作業から実感します。ごみの多くは漁具とプラスチック・タバコのフィルターです。プラスチックは海の上に浮くので餌と間違え食べてしまうのです。また、プラスチックは細かく劣化してビザンレットと呼ばれる物になり、生物の細胞まで入り込んでいるのです。当然皆さんが食べている魚の細胞にも確認されました。この様な活動をしている私たちは誰からも良くやった有難うと言われません。たぶん「海」が有難うと言っているだろうと自己満足して帰途に着きます。又、子供達に作業の意義付けをしたくて、羽幌の「海鳥センター」へエコツーリズムをしています。ここは環境庁の建物で羽幌町が運営している日本で唯一つの海鳥の保護、生態調査、展示などを行っている所で、前述の生態への影響をまのあたりに出来る場所です。

環境保全活動を通してもっと沢山の知識を吸収したい。そしてそれを生かして健全な地球を将来に残してゆきたいと考え、放送大学で学んでいます。その成果を早く役立てたいと思います。

木村邦弘 北海道若年認知症の人と家族の会会長「若年認知症について」

道民カレッジ 連携講座 第5回全道生涯学習研究発表会

第5回全道生涯学習研究発表会は、広く生涯学習をすすめる皆さんにご参加いただき、お互いの経験を交流し、楽しい学習をすすめる契機になることを願いご案内します。

1 テーマ だれでも出来る「生涯学習」をめざして

2 記念講演：北海学園大学経済学部 奥田 仁 教授 「今後の北海道経済と雇用について」

3 発表者：①木村邦弘 北海道若年認知症の人と家族の会会長「若年認知症について」

②武井章二 放送大学学生 卒業研究「北海道の住宅―寒冷地住宅について」

4 日 程：2009年6月6日(土) 受付：12:00 開始・終了 12:30-16:30

5 会 場：放送大学北海道学習センター6F 中講義室 札幌市北区北17条西8丁目(北大構内)

6 参加資料代：700円(同窓会会員前払い分のみ500円) お振込み、または当日頂戴します。

郵便口座名 放送大学北海道同窓会 口座番号 02740-0-37725

役員から

同窓会活動の近況報告について

副会長 鈴木一雄

平成 16 年 6 月にスタートした北海道同窓会も、3 月末には 4 年 9 か月となり、会員数も 145 名となりました。この間の主な活動としては、年 2 回の「卒業を祝う会」の開催、会報の発行、全道生涯学習研究発表会、健康に関する座談会の開催等があります。

同窓会の全国組織としては、現在「放送大学同窓会連合会」に各地の学習センター毎に設立している同窓会が加盟し、その数も当北海道同窓会を含め 38 の同窓会（会員数 9,199 名、20 年 9 月現在）となっています。

会報の発行については、連合会会報「公孫樹いちよう」は 20 年 9 月で第 37 号をかぞえ紙面に「各同窓会だより」を掲載し、活動状況や近況を紹介しています。そのほか各同窓会毎に会報を発行しており、会報の交換をするなどをしながら、新しい同窓会活動作りの参考にしているところです。

近年 E メールやホームページ作りも盛んになり、活用する同窓会も増えています。当会も今年度に正式に立ち上げました。終わりに当会の役員になって頂ける方を募集しています。是非同窓会活動にお力をお貸し下さい。

今後の北海道同窓会の方向性を考える時

副会長・生涯学習担当 大橋ちよ子

北海道同窓会が誕生の産声を上げてから、満 5 年が経とうとしております。この 5 年間、いろいろな役を担いながら、種々な行事と活動に参加し、会員・役員・多くの方々と有意義な経験と学びをさせていただいております。

さて、今後の北海道同窓会の方向性を考える時、近年、この会がとても重要な役割と位置付けがあると考えられます。

世界を取り巻く経済情勢は、特に昨年の 9 月頃から大変な危機状況になっております。アメリカのオバマ新大統領は、就任はじめてから経済危機の大きな課題に取り組みだしております。日本では、大中小企業、正非会社員にかかわらず、次々と解雇され職場から締め出されている現状です。また、高齢者には、昨 2008 年 4 月から新しい医療保険制度が創設されました。これにより、高額な保険料を支払うことが出来ず、適切な医療を受けられず心身ともに悩まれる方も多くなることも考えられます。そして、今まで住み慣れている地域の中で、安心して 24 時間体制の介護・支援のもとに、「終の棲家」とすることが出来ない昨今なのです。

このような状況の中で、放送大学で学んだ同窓会会員が、何が出来るかを見直し、どのような社会貢献が出来るかを改めて考え行動に移す時が来たのだと思います。特に、放送大学で学ばせていただいた私たちは、この社会状況に相応しながら、教養学部での学びを礎に、広い視野に立ち、大いに活躍する時が来たのであると思います。

北海道の同窓会の会則に、「会員が生涯学習の利用の実現を目指すと共に、相互の親睦ならびに母校の発展と全国の同窓との交流を図ることを目的とします。」とあります。先ずは、会員の皆様と交流を持ちながら、どんなことが出来るか話し合いたいと思います。2009 年度 6 月 6 日（土）には、北海道学習センターのご後援・ご協力のもと第 5 回全道生涯学習研究発表会も予定しております。この発表会には、是非、多数の会員の方々に参加していただき、多くの交流を持ちながら、話し合える良い機会と思います。自分の地域のこと、環境のこと、自分が出来る小さなことなどを話し合いながら、各地域へ向け発信し、それを大きな事柄・役割へと共に手を携えて繋いでいきたいと思います。

放送大学北海道同窓会の幹事の一端を2年間お手伝い致しました。その間たくさんの経験をして、たくさんの貴重なことを学びました。卒業を祝う会、生涯学習研究発表会、会報発行年2回等、様々な行事をとおして多くの人々が関わり、各自が責任を持って遂行しながら少人数で同窓会という組織を動かしていくのは大変なことで、本当にエネルギーを使うその動きは素晴らしいと思いました。私も放送大学を卒業して、その感激を持続したいと思い幹事になりましたが、さらに放送大学の役割のすばらしさを改めて強く感じる事が出来ました。いろいろな場面でご助言を頂きました。そしてなによりも一緒に行動してきました仲間としてすばらしい方々とお知り合いになれたことに感謝し、これからの財産として次のステップに挑戦します。有難うございました。最後に放送大学北海道同窓会のさらなるご発展と、役員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

卒業・修了生から寄贈図書のお知らせ <2008年1学期>

2008年1学期の卒業・修了生から放送大学へ本の寄贈を致しました。
前回に続きメンタルヘルス実践大系「教育編」の第9巻から第10巻です。
9、教職員のメンタルヘルス 10、〔索引〕付。座談会学校カウンセリング。マインドと技法の2冊。

本巻は教職員サイドのメンタルヘルスのテーマを多面的に扱っている。まず、教職員をめぐる問題を総論的かつ事例的に取り上げ、次に教師の現状と展望について述べてある。

本巻では、できるだけ多様な立場の教師の心理的葛藤が取り上げられており“悩める教師必読の書”となっているのではないかと自負している。

また、付。座談会学校カウンセリング。マインドと技法では——学校で心の問題をどう扱うか——各々の立場で話し合われています。現場の教師のメンタルヘルスに役立ち、悩める教師の方々が気楽にカウンセラーや精神科医を受診していただく契機となれば幸いである。

(本書より)

これで、**メンタルヘルス実践大系** 全10巻が揃いましたので、皆さんの身近な問題や学習に役立てて頂けると幸いです。是非一度お手に取ってご覧下さい。
今後も、購入希望の図書がありましたら、同窓会事務局まで申し出ください。

メンタルヘルス実践大系

日本図書センター

全10巻のうち9～10巻

(1) 教職員のメンタルヘルス 第9巻

責任編集：柏瀬宏隆・児玉隆治・飯塚清博

(2) 〔索引〕

付。座談会学校カウンセリング。マインドと技法 第10巻

ホームページ開設のお知らせ

お待たせしました。昨年度から製作してまいりました、北海道同窓会のホームページをこのたびやっと開設いたしました。URL : <http://hhdoso.sakura.ne.jp>
数ヶ月に1度の会報だけではお伝えしきれない情報や、リアルタイムの情報を載せて行きたいと思っております。ぜひご覧ください。

放送大学を宣伝してください！

趣味を深めたい、きちんと学び直したい、
これまでのキャリアを生かしたい。
そろそろ仕事も子育ても一段落、
これからのライフプランを考えている
仲間を皆さんの『ロコミ』で、
見つけて下さい。

[募集期間]

☆ 第一学期 6月15日～8月31日

☆ 第二学期 12月15日～2月28日

※ 入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター

TEL 011-736-6318

会費納入と新入会員募集のお知らせ

2008年度の継続会員の方は、今年度の年会費
1,000円を下記口座へ2009年3月31日(火)
までに納入くださるようご協力をお願いします。
また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださ
るようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏
名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記
入の上、入会金1,000円、年会費(初年度)1,000
円を下記口座へご送金ください。(次年度以降
は年会費のみとなります。)

郵便口座名 放送大学北海道同窓会

口座番号 02740-0-37725

放送大学創立25周年記念募金へ ご寄付のお願い

放送大学では、創立25周年を迎え学生・
教職員は勿論のこと、同窓会の活動・運
営の支援の充実を図るため、募金を行っ
ております。

皆様におかれましては、出費多端な折
とは存じますが、この趣旨にご賛同頂
き、ご支援をお願いいたします。

放送大学同窓会連合会

「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集し
ております。皆さんの近況や会報へのご感
想、ご意見がございましたら、是非、お寄
せください。

(宛先) 〒060-0817

札幌市北区北17条西8丁目

北海道大学構内

放送大学北海道学習センター気付

放送大学北海道同窓会

編集後記

昨年9月にリーマンショックという、米国を震源とす
る大不況に見舞われ、我々の生活がより厳しいものにな
ってきています。そのような状況に押し潰されず、い
かに生き残るか。人ごとでは有りません。私達は学ん
だ事を社会のため、自分のために活用していく大きな
転機にあると思います。ピンチはチャンスです。今こ
そ、学びの積み重ねを社会で実践していくときだと感
じています。我が同窓会からも社会のトップクラスに躍
り出る人が出るかもしれませんね。

又、私たちを取り巻く環境が悪化している現在、これ
を跳ね除ける力が必要です。私達が皆で協力して良
い状況に持っていくには、事の本質、真実、義を見極
める心の目が必要で、その目を放送大学で養い、そ
の上で、連帯と情熱で立ち向かうことです。

過酷な状況の中で勉強し、単位を取得して艱難辛
苦を乗り越え卒業した多くの同窓生には、前述の心
の目が養われています。勿論 ガッツも! 情熱も!
同窓会の皆さん 同窓会をもっと活用できるようなアイ
ディアをお寄せ下さい。編集担当は皆さんの為に何
かしたいと力が溢れています。ご利用くださいね。

編集担当。

